

「定年退職後の技術者の雇用に関する実態調査」

調査結果

2013年9月20日

土木学会 教育企画・人材育成委員会
成熟したシビルエンジニア活性化小委員会
委員長 日比野直彦
担当委員兼幹事 黒田 武史

1. 調査要領

1-1. 調査目的

成熟したシビルエンジニアが、今後の社会資本整備等において果たすべき役割や、それを通じての活性化を検討するための基礎資料とする。

1-2. 調査実施時期： 2012年2月～5月

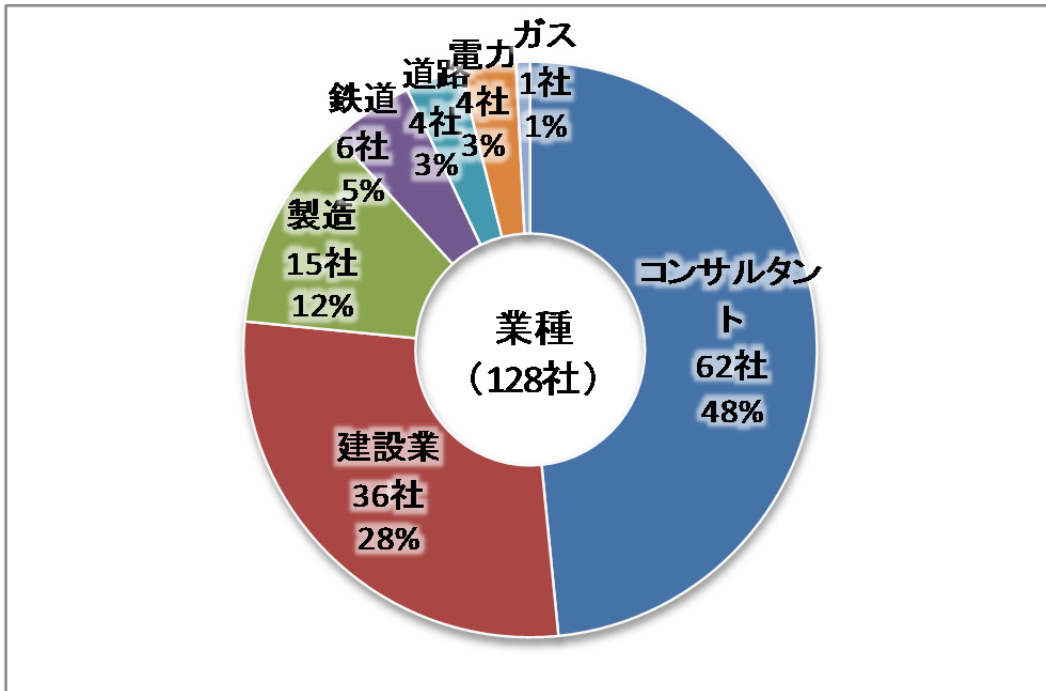
1-3. 調査対象企業： 土木学会会員数上位企業199社

1-4. 実施方法： 郵送

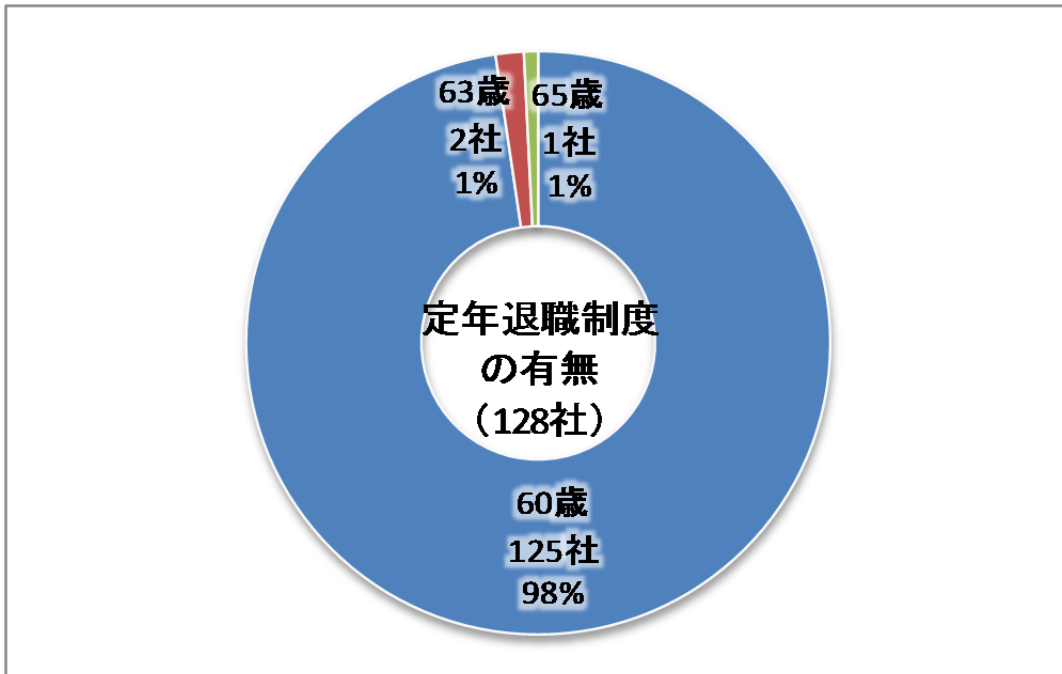
1-5. 回答数： 128社

2. アンケート結果

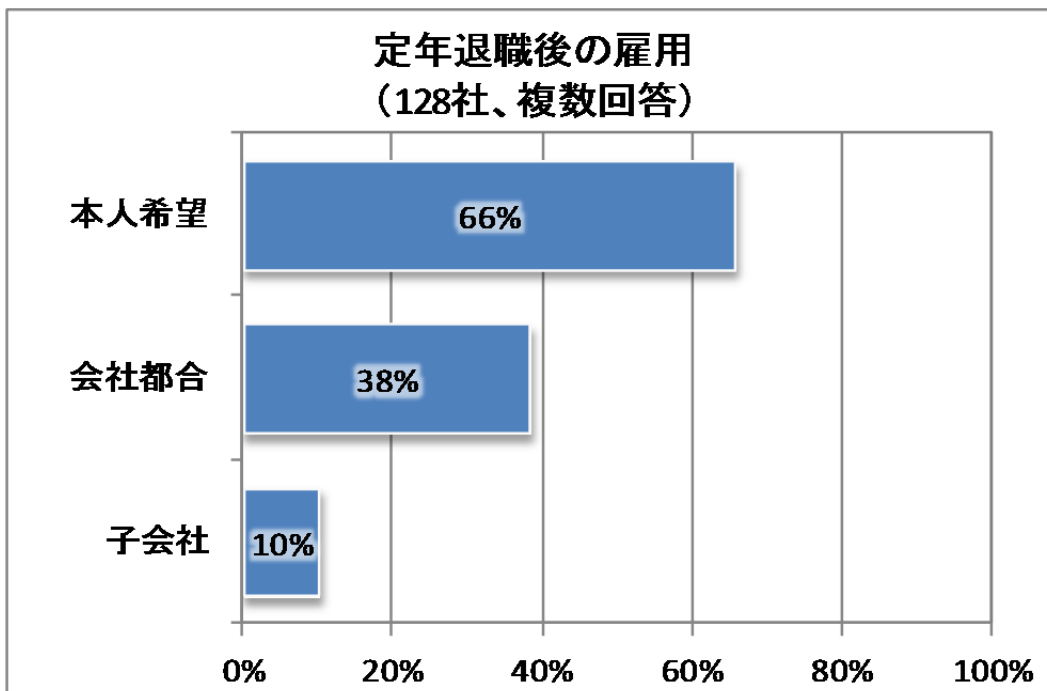
2.1 回答企業の割合



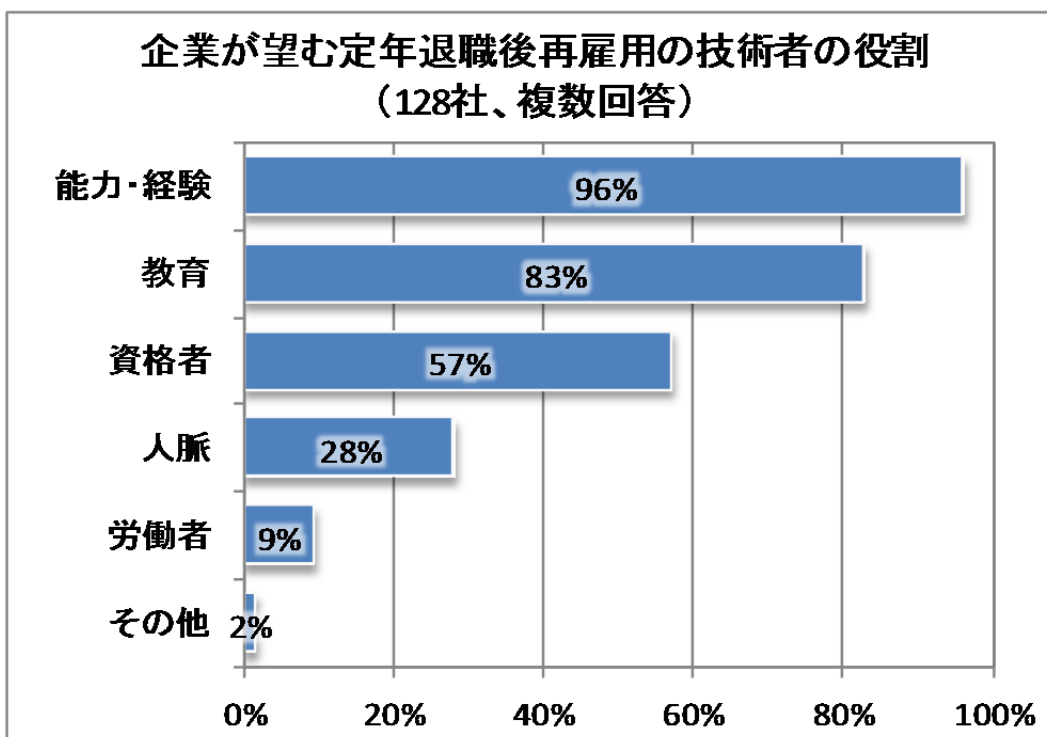
2.2 定年退職制度の有無



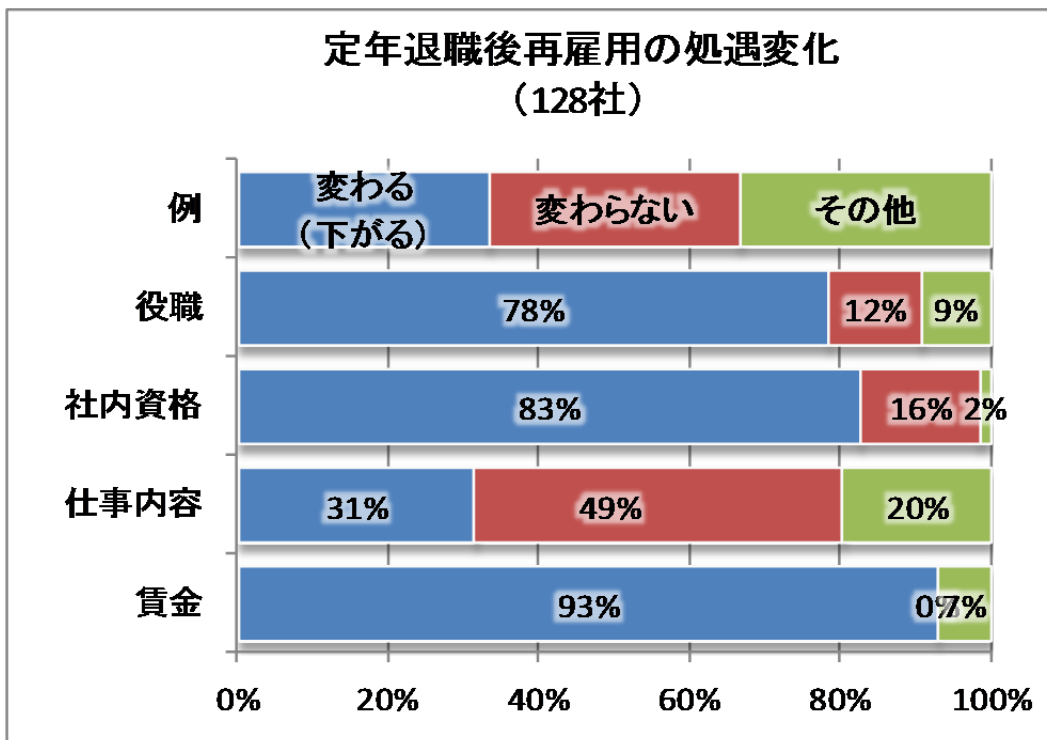
2.3 定年退職後の雇用



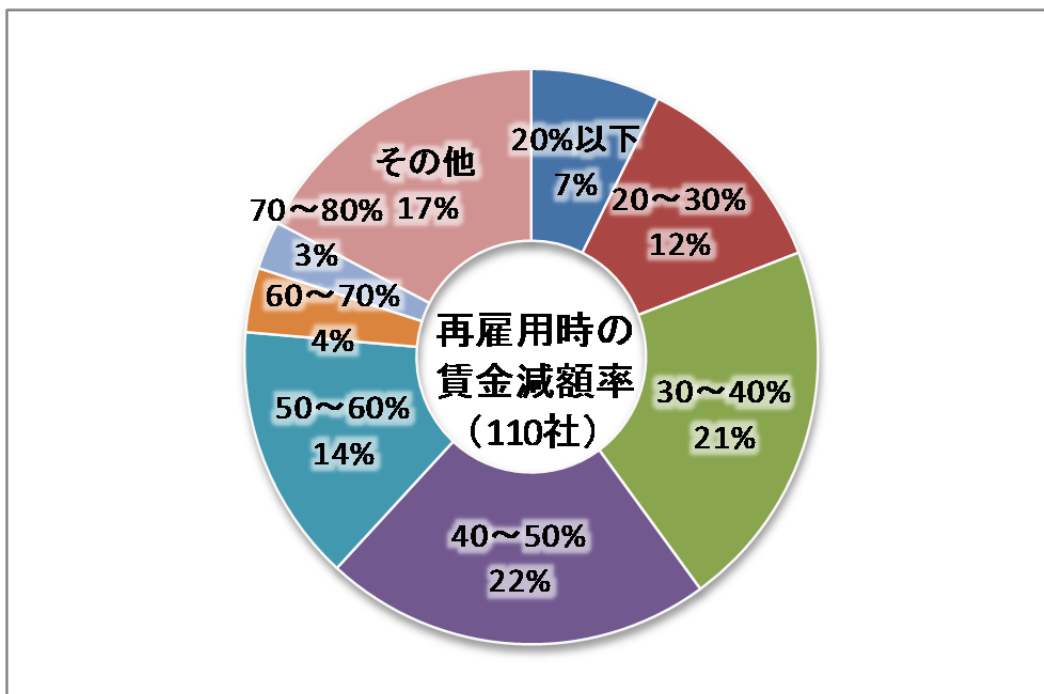
2.4 企業が望む定年退職後再雇用の技術者の役割



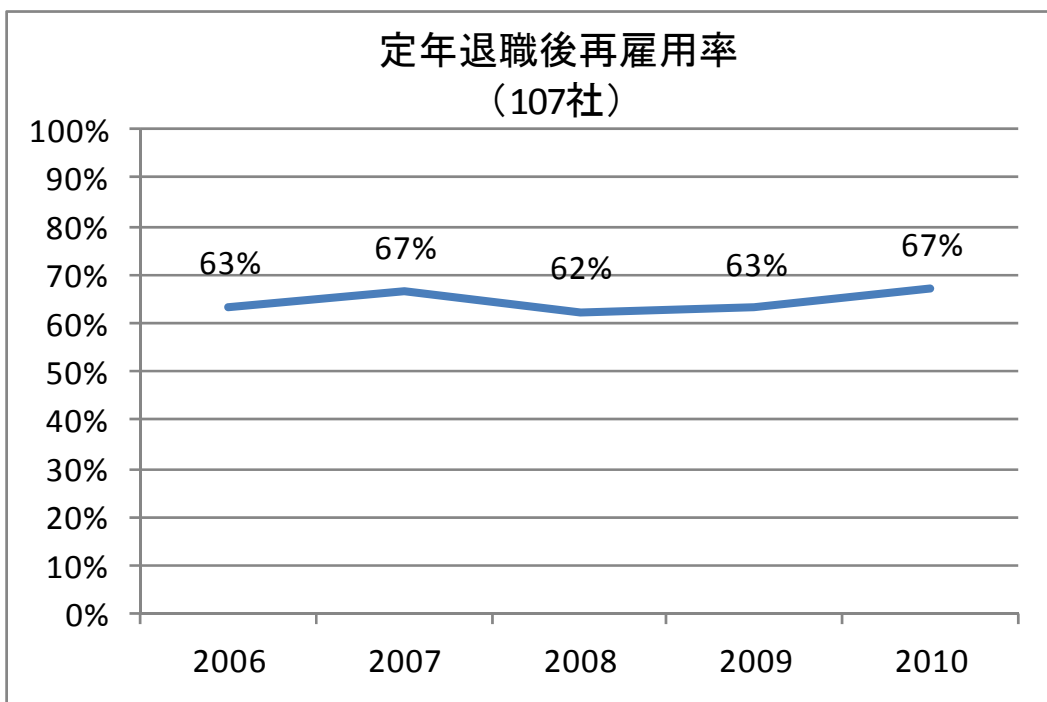
2.5 定年退職後再雇用の処遇変化



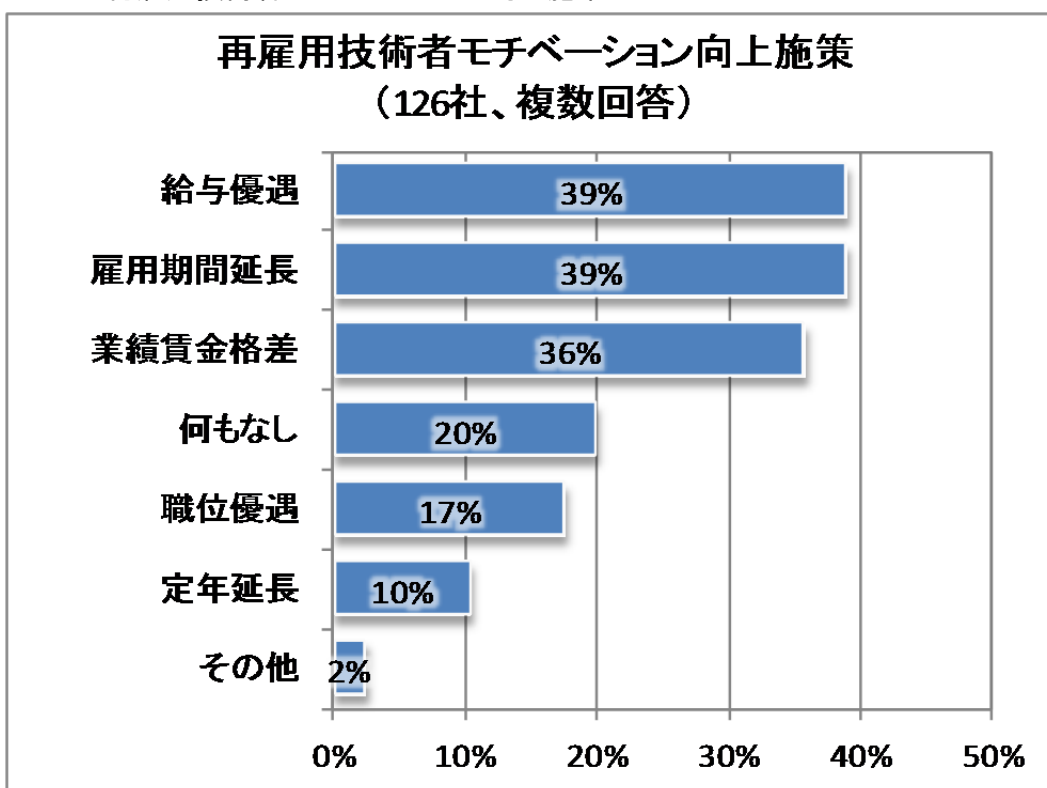
2.6 再雇用時の賃金減額率



2.7 定年退職後再雇用率



2.8 再雇用技術者モチベーション向上施策



2.9 年齡階層別職員数

